# 令和3年度愛知県漂着ごみ組成調査結果(速報)

# 1 令和3年度調査結果

## 1-1 伊勢湾小鈴谷地点での調査結果

伊勢湾小鈴谷地点の位置、漂着ごみの状況は以下のとおり。 回収された漂着ごみは、重量1,314.90kg、容量10,692.7L、 個数1,036個であった。自然物と人工物の組成は、重量、容量 では自然物がそれぞれ97.4%、93.8%、個数では人工物が 89.6%と多かった。自然物の小分類別では、重量では流木、容量では灌木が多かった。

人工物の大分類別の組成は、容量において、木・木材系が53.8%で最も多く、重量、個数において、プラスチックがそれぞれ55.3%、94.9%で最も多かった。



調査地点位置



作業前 調査区域南側から



作業後 調査区域南側から



作業前 調査区域北側から



作業後 調査区域北側から

伊勢湾小鈴谷地点の漂着ごみの状況 (2021.11.10 撮影 常滑市小鈴谷海岸)



特徴的な漂着ごみ(流木)

特徴的な漂着ごみ(灌木)



特徴的な漂着ごみ(発泡スチロール)



特徴的な漂着ごみ(ペットボトル)

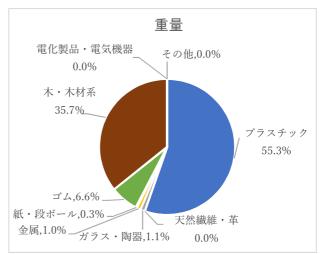
伊勢湾小鈴谷地点の漂着ごみの状況 (2021 年 11 月 11 日撮影 常滑市小鈴谷海岸)

## 2分類別の組成(上表)と人工物の大分類別の組成(下表)

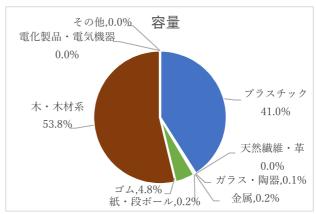
項目	重量 (kg)	容量(L)	個数 (個)
人工物	34. 08	660. 4	928
自然物	1, 280. 82	10, 032. 3	108
合計	1, 314. 90	10, 692. 7	1, 036

項目	重量 (kg)	容量(L)	個数 (個)
プラスチック	18. 85	270. 7	881
天然繊維・革	0.00	0.0	0
ガラス・陶器	0. 37	0. 7	4
金属	0. 33	1. 5	6
紙・段ボール	0.09	1.0	1
ゴム	2. 26	31.5	19
木・木材系	12. 18	355.0	17
電化製品・電気機器	0.00	0.0	0
その他	0.00	0.0	0
人工物合計	34. 08	660. 4	928

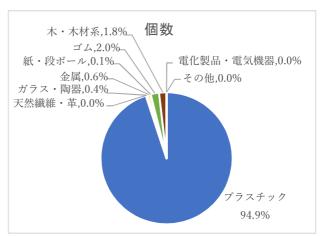












2分類別の組成比(左図)と人工物の大分類別の組成比(右図)

(注:端数処理の関係で合計が100%にならない。以降の図表も同様。)

プラスチック(発泡スチロールを含む。)の容器包装等の組成は、重量、容量、個数ともに、容器包装がそれぞれ48.1%、52.4%、80.1%で最も多かった。

プラスチック (発泡スチロールを含む。) の容器包装等の分類の中で、重量、容量では製品のその他プラボトル類、個数では容器包装の容器類が最も多い結果であった。

プラスチックの容器包装等の組成

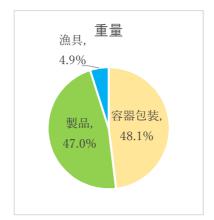
分類	重量(kg)	重量(%)	容量(L)	容量 (%)	個数(個)	個数(%)
容器包装	9.06	48. 1	141.9	52.4	706	80. 1
製品	8.86	47. 0	74. 0	27. 3	147	16.7
漁具	0. 93	4. 9	54. 8	20. 2	28	3. 2
合計	18. 85	100.0	270. 7	100.0	881	100.0

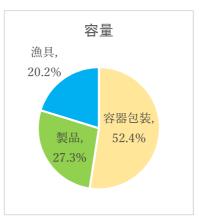
	分類	重量(kg)	容量(L)	個数 (個)
容器包装	飲料用ボトル	4. 75	71. 2	57
容器包装	その他プラボトル類	2. 80	32. 6	40
容器包装	容器類 ※1	0. 77	28. 6	482
容器包装	ポリ袋	0. 23	2. 2	32
漁具	漁網、ロープ	0. 15	1.0	6
漁具	ブイ	0. 08	0. 7	13
漁具	発砲スチロールブイ	0. 02	0. 2	1
漁具	その他漁具	0. 11	0. 9	8
製品	カトラリー ※2	1. 61	0. 2	10
製品	その他プラスチック ※3	8. 33	133. 1	232
	合計	18. 85	270. 7	881

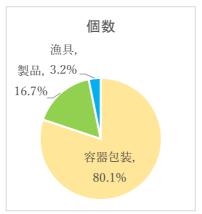
<sup>※1</sup> 調味料容器、トレイ、カップ等

<sup>※2</sup> ストロー、フォーク、スプーン、ナイフ、マドラー

<sup>※3</sup> ライター、注射器、発砲スチロール片等







プラスチックの容器包装等の組成比

ペットボトル等の製造国の特定結果は以下のとおり。

製造国が特定できたペットボトルでは日本が 36 個、ペットボトルのキャップでは、 日本のものが 28 個で多くみられた。漁業用の浮子で製造国が特定できたものは無く、 不明が 14 個であった。

製造国の特定結果(個)

	ペットボトル	ペットボトルの キャップ	漁業用の浮子
日本	36	28	0
英語	0	1	0
不明	21	15	14
合計	57	44	14

### 1-2 三河湾形原地点での調査結果

三河湾形原地点の位置、漂着ごみの状況をは以下のとおり。 回収された漂着ごみは、重量 19.66kg、容量 247.26L、個数 110 個であった。自然物と人工物の組成は、重量、容量では自然物が それぞれ 96.2%、98.5%で、個数では人工物が 98.2%と多かっ た。

自然物の小分類別では、重量、容量ともに灌木が多かった。 人工物の大分類別の組成では、重量、容量、個数において、プラスチックがそれぞれ 93.2%、94.4%、98.1%で最も多かった。



調査地点位置



三河湾形原地点の漂着ごみの状況 (2021年12月8日撮影 蒲郡市春日浦海岸)

調査後 調査区域東側から

調査前 調査区域東側から



特徴的な漂着ごみ (ボトルのキャップ,ふた)



特徴的な漂着ごみ(たばこ吸殻)



特徴的な漂着ごみ(食品の容器包装)

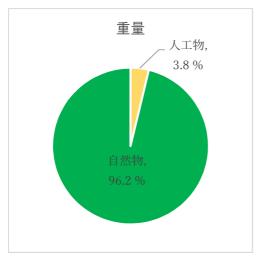


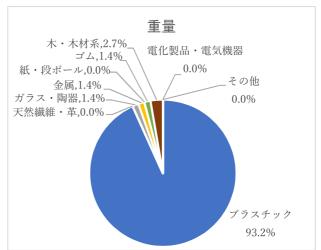
特徴的な漂着ごみ(ストロー)

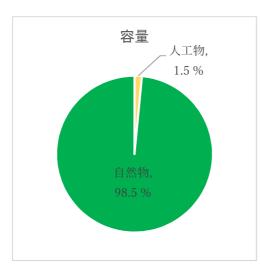
三河湾形原地点の漂着ごみの状況 (2021年12月8日撮影 蒲郡市春日浦海岸)

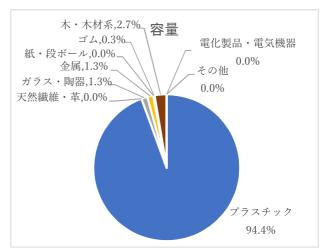
### 2分類別の組成(上段)と人工物の大分類別の組成(下段)

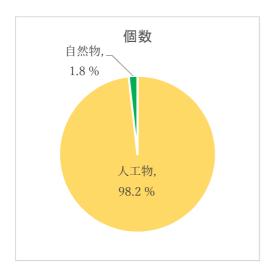
	里重(Kg)	谷重(L)	1回 釵 (1回)
人工物	0. 74	3. 76	108
自然物	18. 92	243. 50	2
合計	19. 66	247. 26	110
項目	重量(kg)	容量(L)	個数(個)
プラスチック	0. 69	3. 55	106
天然繊維・革	0.00	0.00	0
ガラス・陶器	0. 01	0. 05	0
金属	0. 01	0. 05	0
紙・段ボール	0.00	0.00	0
ゴム	0. 01	0. 01	0
木・木材系	0. 02	0. 10	2
電化製品・電気機器	0.00	0.00	0
その他	0.00	0.00	0
人工物合計	0. 74	3. 76	108

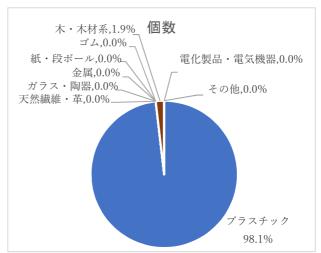












2分類別の組成比(左図)と人工物の大分類別の組成比(右図)

プラスチック(発泡スチロールを含む。)の容器包装等の組成は、重量、容量、個数ともに、製品がそれぞれ62.3%、46.5%、54.7%で最も多かった。

製品の分類では、重量、容量、個数でその他プラスチックが最も多かった。

#### プラスチックの容器包装等の組成

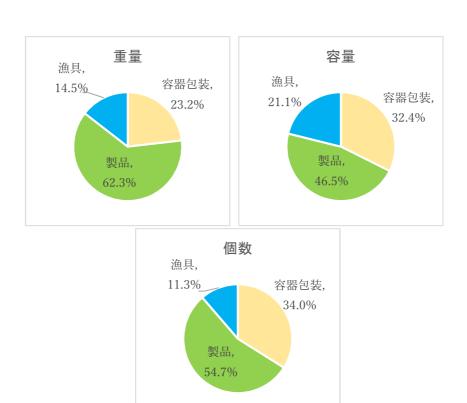
分類	重量(kg)	重量 (%)	容量(L)	容量 (%)	個数(個)	個数(%)
容器包装	0.16	23. 2	1. 15	32. 4	36	34.0
製品	0.43	62. 3	1. 65	46. 5	58	54. 7
漁具	0.10	14. 5	0. 75	21. 1	12	11. 3
合計	0.69	100.0	3. 55	100.0	106	100.0

	分類	重量(kg)	容量(L)	個数 (個)
容器包装	飲料用ボトル	0.00	0.00	0
容器包装	その他プラボトル類	0. 05	0. 10	2
容器包装	容器類 ※1	0. 03	0. 55	9
容器包装	ポリ袋	0. 03	0. 20	10
漁具	漁網、ロープ	0. 02	0. 20	4
漁具	ブイ	0. 02	0. 20	3
漁具	発砲スチロールブイ	0.00	0.00	0
漁具	その他漁具	0. 05	0. 15	5
製品	カトラリー ※2	0. 01	0. 10	7
製品	その他プラスチック ※3	0. 48	2. 05	66
	合計	0. 69	3. 55	106

<sup>※1</sup> 調味料容器、トレイ、カップ等

<sup>※2</sup> ストロー、フォーク、スプーン、ナイフ、マドラー

<sup>※3</sup> ライター、注射器、発砲スチロール片等



プラスチックの容器包装等の組成比

ペットボトル等の製造国の特定結果は、以下のとおり。

本調査にて確認されたペットボトルのキャップ、漁業用の浮子のなかで、製造国が特定できたのは、日本のペットボトルのキャップ 4 個であった。ペットボトルは確認されなかった。

製造国の特定結果(個)

	ペットボトル	ペットボトルの キャップ	漁業用の浮子
日本	0	4	0
不明	0	1	3
合計	0	5	3

#### 1-3 遠州灘西七根地点での調査結果

遠州灘西七根地点の位置、漂着ごみの状況は以下のとおり。

回収された漂着ごみは重量 66.51kg、容量 1,226.6 L、個数 158 個であった。自然物 と人工物の組成は、重量、容量では自然物がそれぞれ 90.3%、94.3%、個数では人工 物が 85.4%と多かった。

自然物の小分類別では、重量では灌木が、容量では流木が多かった。

人工物の大分類別の組成は、重量、容量、個数ともに、プラスチックがそれぞれ 65.2%、75.9%、92.6%で最も多かった。



調査地点位置



遠州灘西七根地点の漂着ごみの状況 (2021年11月9日撮影 豊橋市西七根海岸)



特徴的な漂着ごみ (流木)



特徴的な漂着ごみ(灌木)



特徴的な漂着ごみ (ブイ (漁具))



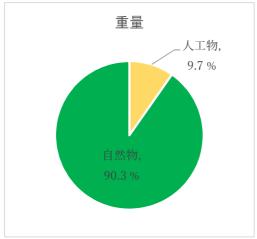
特徴的な漂着ごみ (食品容器 (発泡スチロール))

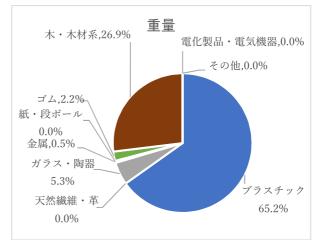
遠州灘西七根地点の漂着ごみの状況 (2021 年 11 月 9 日撮影 豊橋市西七根海岸)

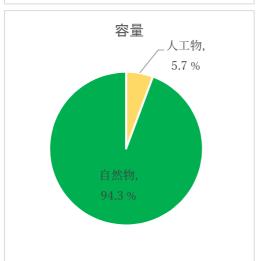
# 2分類別の組成(左表)と人工物の大分類別の組成(右表)

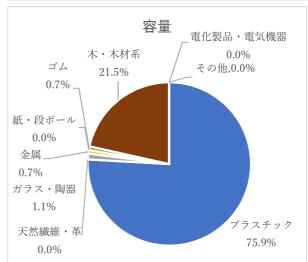
項目	重量(kg)	容量(L)	個数 (個)
人工物	6. 46	69. 7	135
自然物	60. 05	1, 156. 9	23
合計	66. 51	1, 226. 6	158

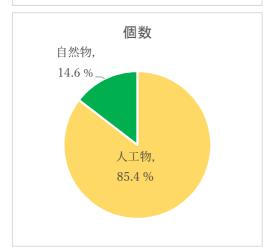
項目	重量(kg)	容量(L)	個数 (個)
プラスチック	4. 21	52. 9	125
天然繊維・革	0.00	0.0	0
ガラス・陶器	0. 34	0.8	2
金属	0. 03	0. 5	2
紙・段ボール	0.00	0.0	0
ゴム	0.14	0. 5	1
木・木材系	1. 74	15. 0	5
電化製品・電気機器	0.00	0. 0	0
その他	0.00	0. 0	0
人工物合計	6. 46	69. 7	135

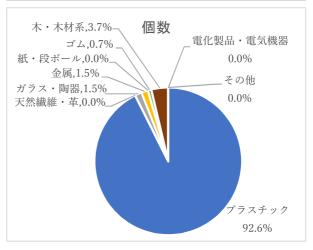












2分類別の組成比(左図)と人工物の大分類別の組成比(右図)

プラスチック (発泡スチロールを含む。)の容器包装等の組成は、重量、容量ともに、漁具がそれぞれ 60.8%、70.9%で最も多く、個数では、容器包装が 62.4%で最も多かった。

プラスチック (発泡スチロールを含む。) の容器包装等の分類では、重量、容量では 漁具のブイ、個数では容器包装の容器類が最も多った。

プラスチックの容器包装等の組成

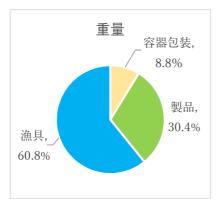
分類	重量(kg)	重量(%)	容量(L)	容量 (%)	個数(個)	個数(%)
容器包装	0. 37	8.8	5. 9	11. 2	78	62. 4
製品	1. 28	30. 4	9. 5	18.0	32	25. 6
漁具	2. 56	60.8	37. 5	70. 9	15	12.0
合計	4. 21	100.0	52. 9	100.0	125	100.0

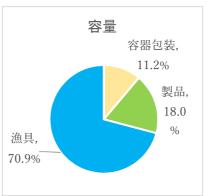
	分類	重量(kg)	容量(L)	個数(個)
容器包装	飲料用ボトル	0. 11	2. 0	4
容器包装	その他プラボトル類	0. 08	1. 3	5
容器包装	容器類 ※1	0. 09	1. 7	40
容器包装	ポリ袋	0. 05	0. 7	20
漁具	漁網、ロープ	0. 35	2. 0	8
漁具	ブイ	2.06	30. 2	6
漁具	発砲スチロールブイ	0. 02	0. 3	1
漁具	その他漁具	0.00	0.0	0
製品	カトラリー ※2	0. 02	0. 2	5
製品	その他プラスチック ※3	1. 43	14. 5	36
	合計	4. 21	52. 9	125

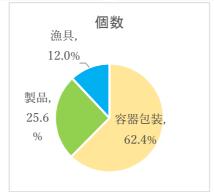
<sup>※1</sup> 調味料容器、トレイ、カップ等

<sup>※2</sup> ストロー、フォーク、スプーン、ナイフ、マドラー

<sup>※3</sup> ライター、注射器、発砲スチロール片等







プラスチックの容器包装等の組成比

ペットボトル等の製造国の特定結果は、以下のとおり。製造国が特定できたものについて、ペットボトルでは、日本が2個で中国・台湾が1個、ペットボトルのキャップでは、日本、中国・台湾、英語が各1個であった。漁業用の浮子では、中国・台湾の4個であった。

製造国の特定結果(個)

	ペットボトル	ペットボトルの キャップ	漁業用の浮子
日本	2	1	0
中国・台湾	1	1	4
英語	0	1	0
不明	1	3	3
合計	4	6	7

# 2 昨年度調査との比較

#### 2-1 伊勢湾小鈴谷地点

伊勢湾小鈴谷地点の令和2年度の令和3年度の調査区域の回収前の様子は以下のとおり。



令和2年度 作業前 調査区域南側から

(2020年12月14日撮影 常滑市小鈴谷海岸)



令和3年度 作業前 調査区域南側から (2021年11月10日撮影 常滑市小鈴谷海岸)

伊勢湾小鈴谷地点の漂着ごみの状況

令和2年度と令和3年度の結果を比較すると、2分類別組成の人工物では、重量、容量、個数の各項目で令和3年度に増加がみられ、自然物では重量、個数で減少し、容量で増加がみられた。2分類別の組成比では、両年度ともに重量、容量では自然物の比率が高く、個数では人工物の比率が高い傾向が見られた。

人工物の大分類別の組成の令和3年度の結果では、プラスチックで重量、個数が増加 し、ゴムでは重量、容量、個数で増加が見られた。人工物の大分類別の組成比では、両年 度とも重量、容量、個数で他の分類項目と比較してプラスチック、木・木材系の比率が高 い傾向が見られた。

2分類別の組成(上表:令和2年度、下表:令和3年度)

項目	重量(kg)	容量(L)	個数 (個)
人工物	33. 1	428	645
自然物	1, 905. 5	6, 840	256
合計	1, 938. 6	7, 268	901
項目	重量(kg)	容量(L)	個数(個)
項目 人工物	重量(kg) 34.08		個数(個) 928
		660. 4	

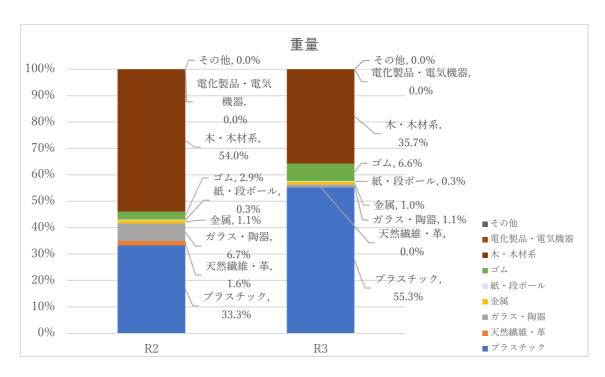


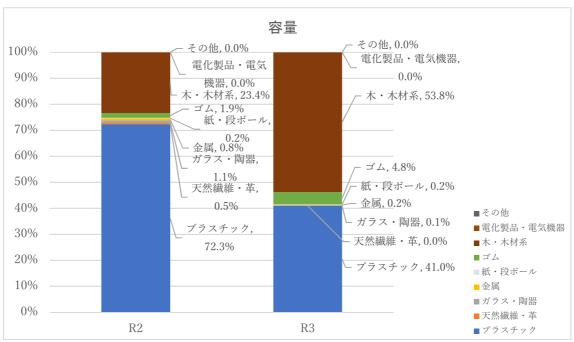
2分類別の組成

人工物の大分類別の組成(上表:令和2年度、下表:令和3年度)

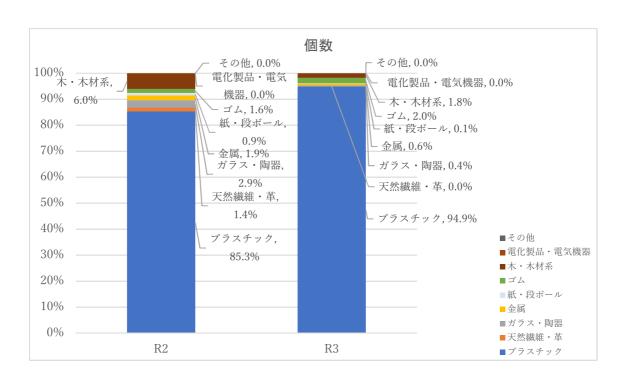
項目	重量 (kg)	容量(L)	個数 (個)
プラスチック	11. 0	309	550
天然繊維・革	0. 5	2	9
ガラス・陶器	2. 2	5	19
金属	0.4	3	12
紙・段ボール	0. 1	1	6
ゴム	1.0	8	10
木・木材系	17. 9	100	39
電化製品・電気機器	0.0	0	0
その他	0.0	0	0
人工物合計	33. 1	428	645

項目	重量(kg)	容量(L)	個数(個)
プラスチック	18. 85	270. 7	881
天然繊維・革	0.00	0.0	0
ガラス・陶器	0. 37	0. 7	4
金属	0. 33	1. 5	6
紙・段ボール	0.09	1.0	1
ゴム	2. 26	31. 5	19
木・木材系	12. 18	355.0	17
電化製品・電気機器	0.00	0.0	0
その他	0.00	0.0	0
人工物合計	34. 08	660. 4	928





人工物の大分類別の組成比①



人工物の大分類別の組成比②

### 2-2 三河湾形原地点

三河湾形原地点の令和2年度の令和3年度の調査区域の回収前の様子は以下のとおり。



三河湾形原地点の漂着ごみの状況

令和2年度と令和3年度の結果を比較すると、2分類別組成の人工物では、重量、容量、個数の各項目で増加がみられ、自然物では重量、容量で増加がみられた。2分類別の組成比では、両年度ともに重量、容量では自然物の比率が高く、個数では人工物の比率が高い傾向が見られた。

人工物の大分類別の組成では、重量、容量、個数ですべての分類で令和3年度の結果に増加が見られた。人工物の大分類別の組成比では、両年度ともプラスチックの比率が重量、容量、個数で90%以上を占める傾向が見られた。

2分類別の組成(上表:令和2年度、下表:令和3年度)

項目	重量(kg)	容量(L)	個数 (個)
人工物	0.044	0. 33	17
自然物	8. 810	122. 00	2
合計	8. 854	122, 33	19

項目	重量 (kg)	容量(L)	個数 (個)
人工物	0. 74	3. 76	108
自然物	18. 92	243. 50	2
合計	19. 66	247. 26	110

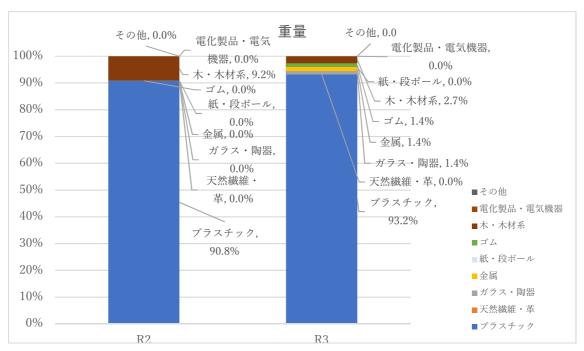


2分類別の組成

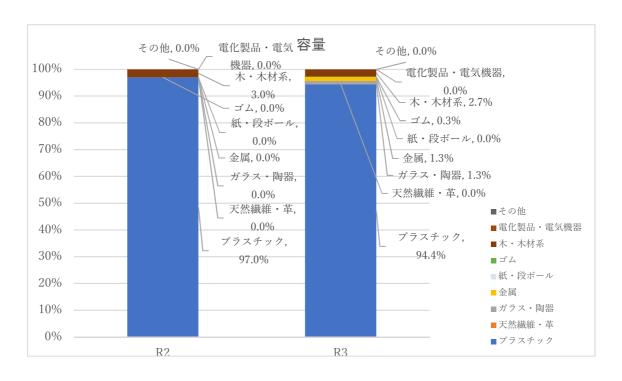
人工物の大分類別の組成(上表:令和2年度、下表:令和3年度)

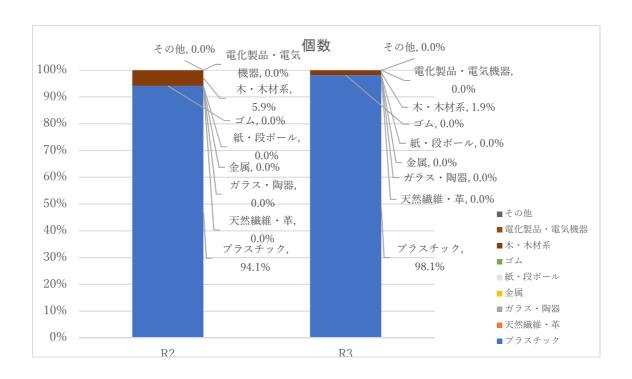
項目	重量(kg)	容量(L)	個数(個)
プラスチック	0. 040	0. 32	16
天然繊維・革	0.000	0.00	0
ガラス・陶器	0.000	0.00	0
金属	0.000	0.00	0
紙・段ボール	0.000	0.00	0
ゴム	0.000	0.00	0
木・木材系	0.004	0. 01	1
電化製品・電気機器	0.000	0.00	0
その他	0.000	0.00	0
人工物合計	0. 044	0. 33	17

項目	重量(kg)	容量(L)	個数(個)
プラスチック	0. 69	3. 55	106
天然繊維・革	0.00	0.00	0
ガラス・陶器	0. 01	0. 05	0
金属	0. 01	0. 05	0
紙・段ボール	0. 00	0.00	0
ゴム	0. 01	0. 01	0
木・木材系	0. 02	0. 10	2
電化製品·電気機器	0. 00	0.00	0
その他	0.00	0.00	0
人工物合計	0. 74	3. 76	108



人工物の大分類別の組成比①





人工物の大分類別の組成比②

### 2-3 遠州灘西七根地点

遠州灘西七根地点の令和2年度の令和3年度の調査区域の回収前の様子は以下のとお り。



調査区域西側から

(2021年1月20日撮影 豊橋市西七根海岸)



令和3年度 作業前 調査区域西側から

(2021年11月9日撮影 豊橋市西七根海岸)

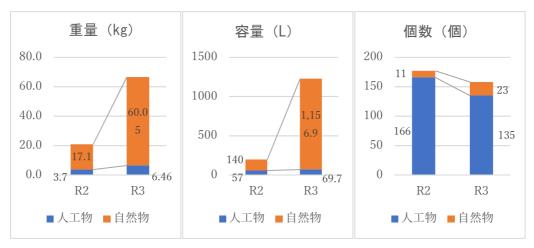
遠州灘西七根地点の漂着ごみの状況

令和2年度と令和3年度の結果を比較すると、2分類別組成の人工物では、重量、容量 で増加がみられ、自然物では重量、容量、個数で増加がみられた。2分類別の組成比で は、両年度ともに重量、容量では自然物の比率が高く、個数では人工物の比率が高い傾向 が見られた。

人工物の大分類別の組成の令和3年度の結果では、重量では紙・段ボールを除きすべて の分類で増加が見られ、容量ではプラスチック、ガラス・陶器、木・木材系にて増加、個 数ではガラス・陶器に増加が見られた。人工物の大分類別の組成比では、両年度とも重 量、容量、個数で他の分類項目と比較してプラスチック、木・木材系の比率が高い傾向が 見られた。

2分類別の組成(上表:令和2年度、下表:令和3年度)

項目	重量 (kg)	容量(L)	個数 (個)
人工物	3. 7	57	166
自然物	17. 1	140	11
合計	20. 8	197	177
項目	手目 /1)	古目 (1)	100 坐4 (100)
	重量(kg)	容量(L)	個数 (個)
 人工物	<u>里軍(Kg)</u> 6.46	谷童(L) 69.7	10 致 (10)

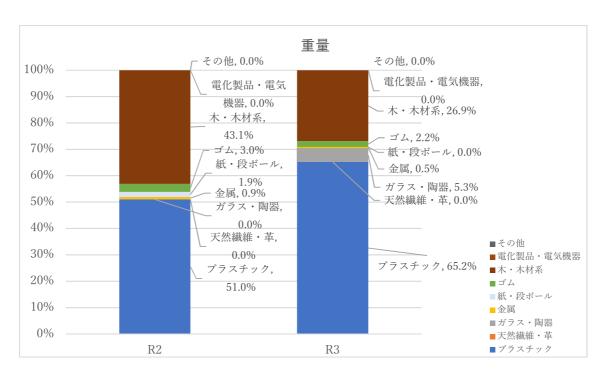


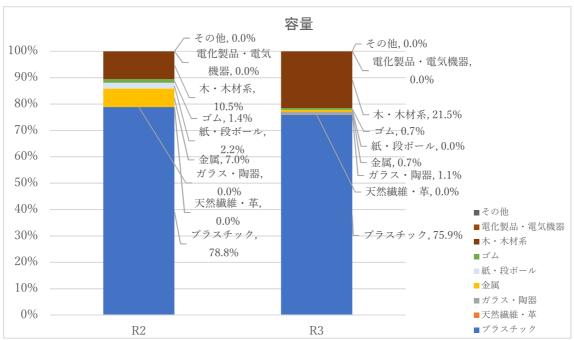
2分類別の組成

人工物の大分類別の組成(上表:令和2年度、下表:令和3年度)

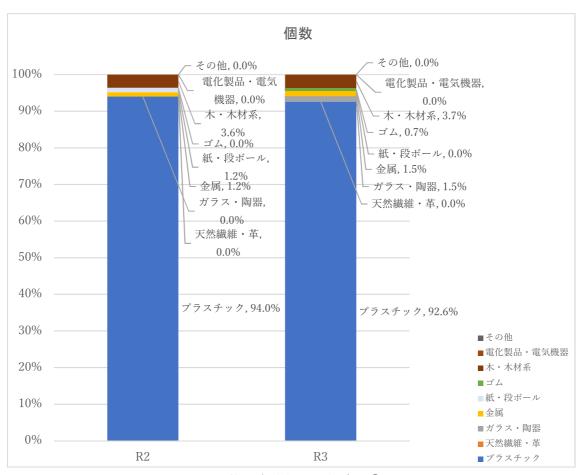
項目	重量(kg)	容量(L)	個数(個)
プラスチック	1.9	45	156
天然繊維・革	0.0	0	0
ガラス・陶器	0.0	0	0
金属	0.0	4	2
紙・段ボール	0. 1	1	2
ゴム	0. 1	1	0
木・木材系	1.6	6	6
電化製品・電気機器	0.0	0	0
その他	0.0	0	0
人工物合計	3. 7	57	166

項目	重量(kg)	容量(L)	個数(個)
プラスチック	4. 21	52. 9	125
天然繊維・革	0.00	0.0	0
ガラス・陶器	0. 34	0.8	2
金属	0. 03	0. 5	2
紙・段ボール	0.00	0. 0	0
ゴム	0. 14	0. 5	1
木・木材系	1. 74	15. 0	5
電化製品·電気機器	0. 00	0.0	0
その他	0.00	0.0	0
人工物合計	6. 46	69. 7	135





人工物の大分類別の組成比①



人工物の大分類別の組成比②